

# 平成30年度供給・献血実績等について



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

令和元年8月8日（木）  
薬事・食品衛生審議会  
血液事業部会献血推進調査会

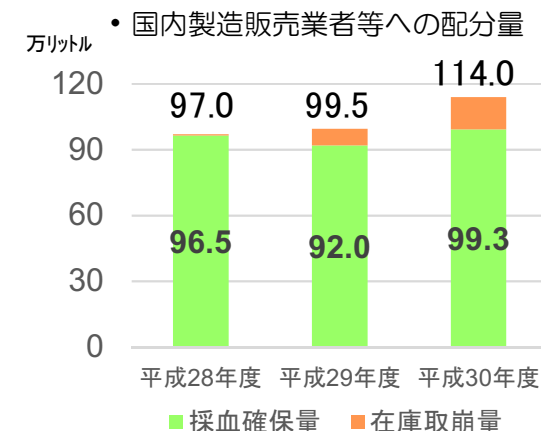
1. 製造実績
2. 供給実績
3. 献血血液確保に係る取組について
4. 献血実績
5. アンケート調査について
6. まとめ

## 1. 製造実績

種別	献血推進計画における製造見込量	製造量(実績)
赤血球製剤	51万リットル	51.1万リットル
血漿製剤	26万リットル	25.8万リットル
血小板製剤	17万リットル	16.8万リットル

### ・原料血漿

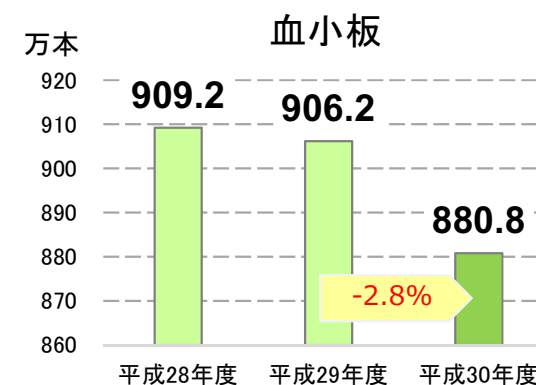
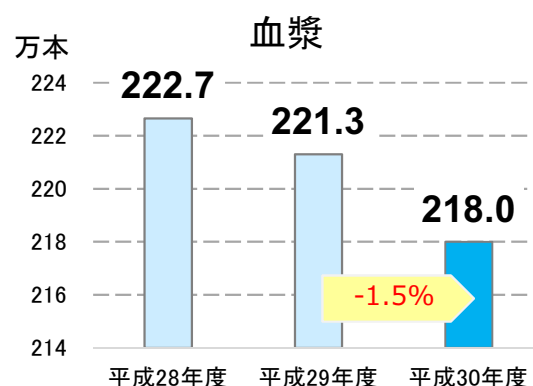
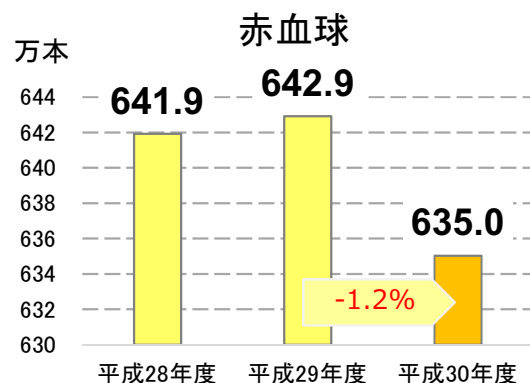
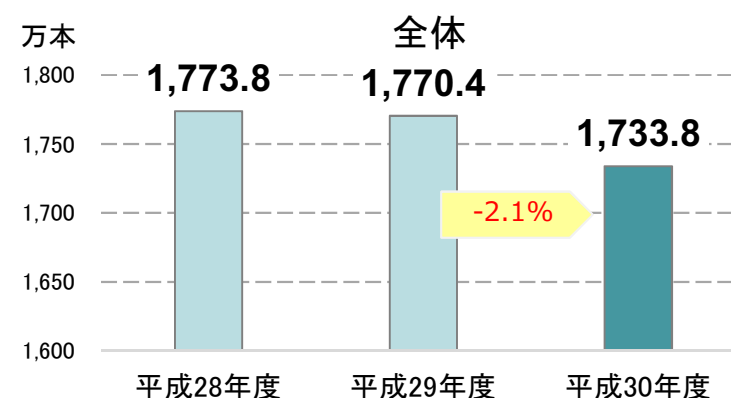
需給計画における確保目標量	確保量(実績)
99.0万リットル	99.3万リットル



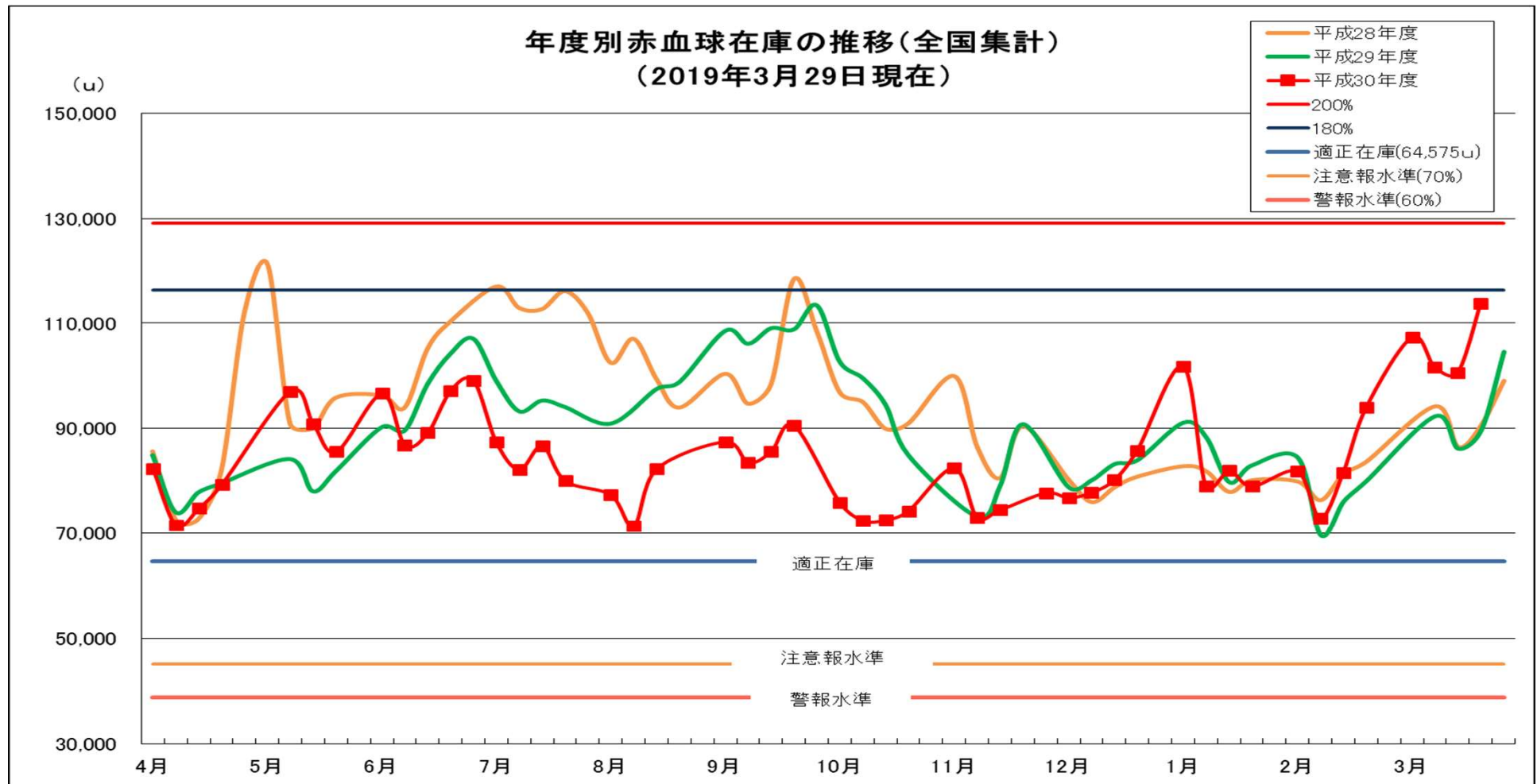
## 2. 供給実績

- 全体は前年に対し、**2.1%減**の1,733.8万本
- 赤血球製剤は**1.2%減**の635.0万本
- 血漿製剤は**1.5%減**の217.9万本
- 血小板製剤は**2.8%減**の880.8万本

※本数は200mL献血由来を1本とした換算数



赤血球製剤の在庫推移



年間を通じて安定供給が確実に行えている

### 3. 献血血液確保に係る取組について

#### (1) 広報資材の作成

- ①血液事業をわかりやすく理解していただくパンフレット「愛のかたち献血（小・中学生用及び一般用）」作成
  - ・平成30年度(29年度)：小・中学生用95,100部(76,000部)、一般用105,700部(95,000部)
- ②高校生や大学生をはじめ若年層に受け入れられやすい内容の情報誌「献血Walker」を作成
  - ・平成30年度：630,000部（平成29年度600,000部）
- ③献血啓発用ポスターや「はたちの献血」キャンペーンポスター等を作成
  - ・愛の血液助け合い運動月間 平成30年度：27,665部（平成29年度 28,000部）
  - ・世界献血者デー 平成30年度： 3,830部（平成29年度 5,000部）
  - ・はたちの献血キャンペーン 平成30年度：20,080部（平成29年度 19,000部）



#### (2) 映像素材の作成

- ①テレビ、ラジオCM「はたちの献血」キャンペーン用
- ②献血をわかりやすく視覚で訴えるインフォグラフィック動画「What's KENKETSU?（1分版、3分版）」を更新
- ③YouTuber「東海オンエア」とのコラボ動画 237万回視聴（Twitter上での視聴含む）
- ④鉄拳 献血啓発パラパラ漫画「けんけつ」 76万回視聴  
⇒ 各血液センターのSNS等からの情報発信やYouTube等で動画配信



#### (3) 若年層に対する働きかけ

- ①年代別献血目標人数の設定（10～30代）  
平成29年度より、行政との連携により都道府県別に目標人数を設定
  - ・週単位での進捗管理（全国の血液センターで情報を共有）
  - ・各ブロック、各血液センターにおいて若年層強化対策を実施

- ②学校での献血機会を拡大し若年層献血者の確保を図るため、学校献血を強化した
  - ・高等学校：実施校数1校減少 30年度1,306校（前年度1,307校）
  - ・大学、専門学校等：実施校数7校増加 30年度844校（前年度837校）

（参考資料1-2 1ページ）

- ③献血セミナーの実施（参考資料1-1 11ページ）

### 3. 献血血液確保に係る取組について

#### ④「赤十字・いのちと献血俳句コンテスト」

文部科学省及び厚生労働省の協力を得、命の尊さや献血の大切さを考える機会創出のため「赤十字・いのちと献血俳句コンテスト」を実施  
・平成30年度応募数：136,524句（募集ポスター9,000部、チラシ300,000部）  
（平成29年度応募数：233,492句）

#### ⑤若者に人気のアニメ“はたらく細胞”とのタイアップによる献血推進

タイアップ第一弾 アニメ第一話先行配信、第二弾 卓上カレンダー15,000部配付

#### (4) その他の普及啓発 『LOVE in Actionプロジェクト』（献血推進プロジェクト）

⇒特に10代と20代前半の献血者を増加させることを目的に展開

①LINEによる情報発信 （約372万件友達追加、オリジナルスタンプダウンロード⇒約272万件）

②若者に人気のアニメ“ラブライブ！サンシャイン!!”とのタイアップによる献血推進

オリジナルクリアファイル30,000枚配付

③LOVE in Action Meeting(LIVE)や全国各地で「ご当地大作戦」及び献血セミナー「いのちの授業」を実施

(MC：“レモンさんこと” 山本シュウ氏、小林麻耶氏)

※「ご当地大作戦」…全国で3か所実施（福井県、大分県、大阪府）

※「いのちの授業」…全国で2校実施（愛知県：愛知産業大学工業高等学校 大分県：大分東明高等学校）

④受血者である友寄蓮氏による献血セミナー「ありがとうの手紙 From 献血で救われたいのち」を実施

※全国で4校実施（群馬県：新島学園高等学校 長野県：長野県小諸高等学校 等）

### 3. 献血血液確保に係る取組について

#### 各種広報資材

(はたちの献血)



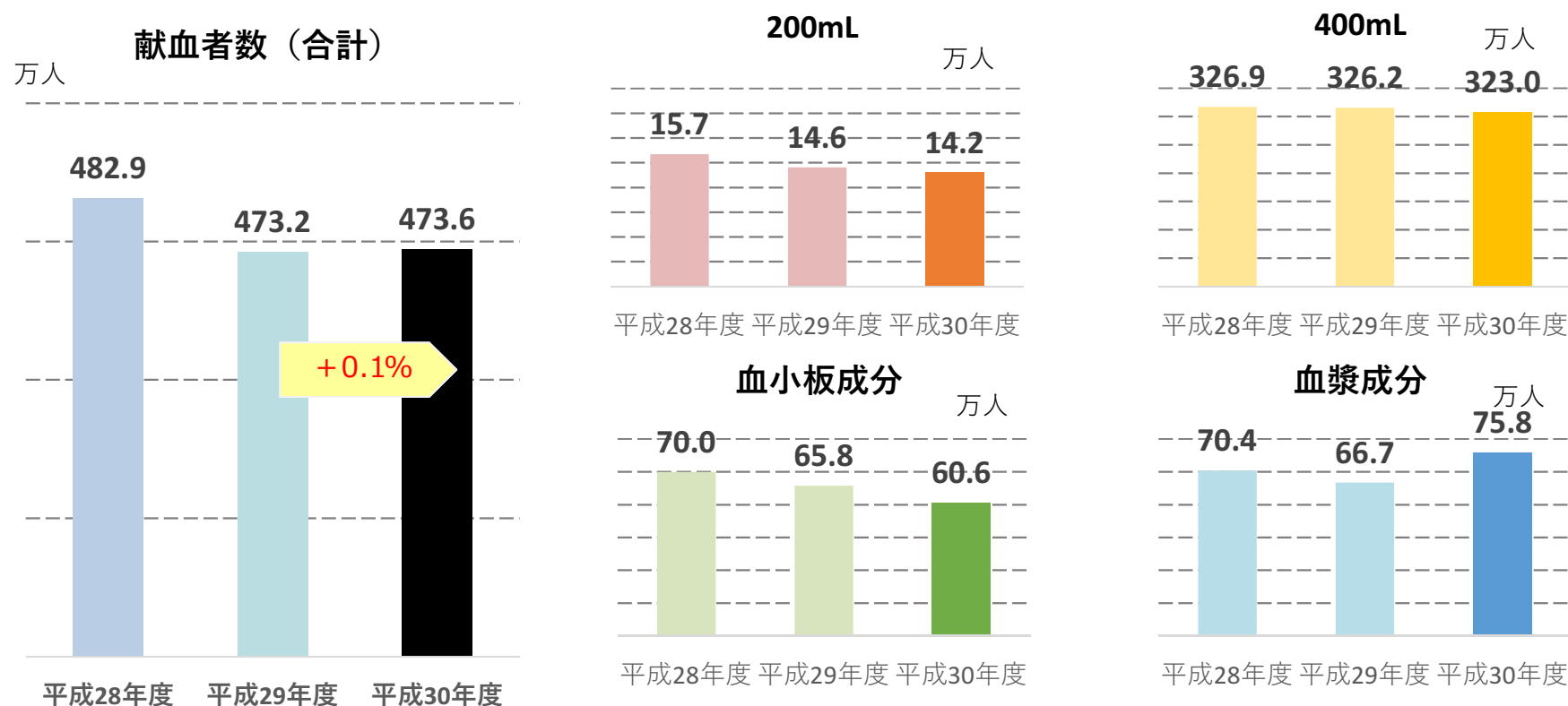
(アニメとのコラボ)





## 4. 献血実績

総献血者数は、平成29年度比で3,803人増（0.1%増）の473万6千人

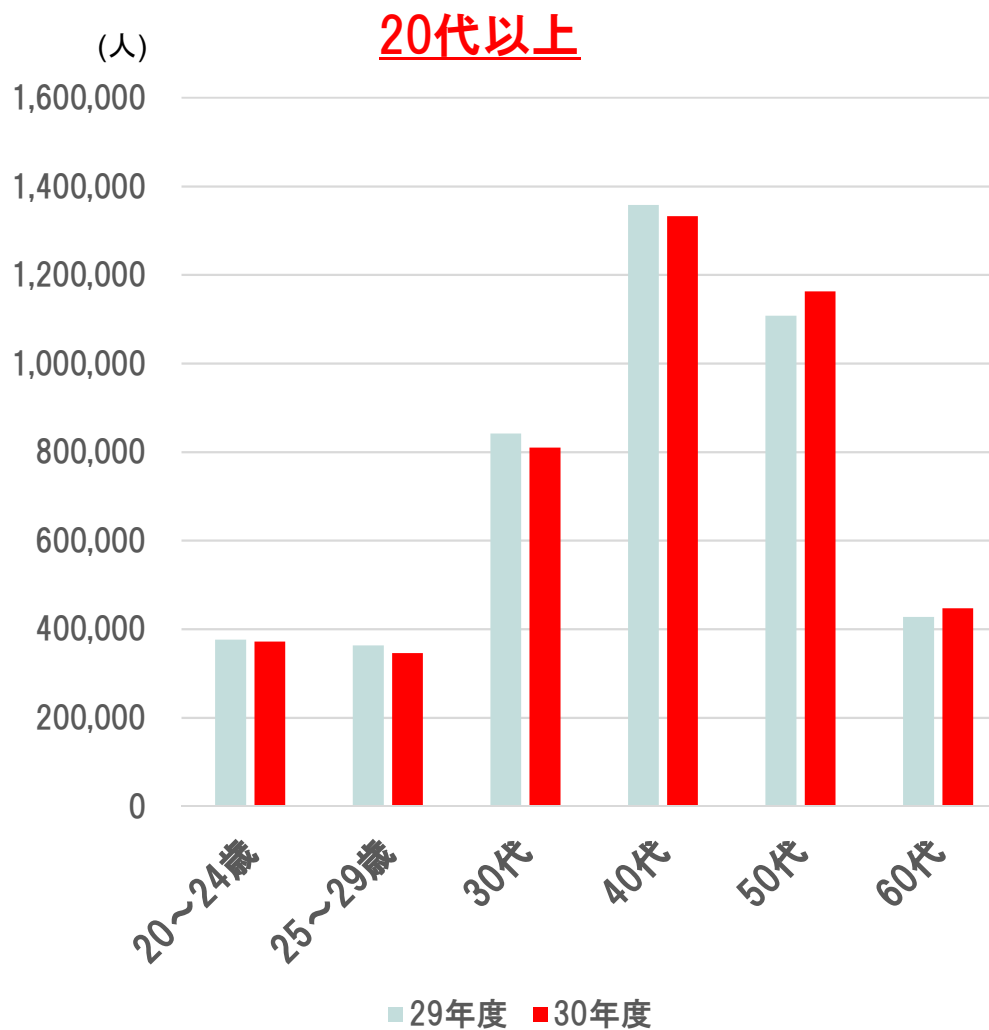
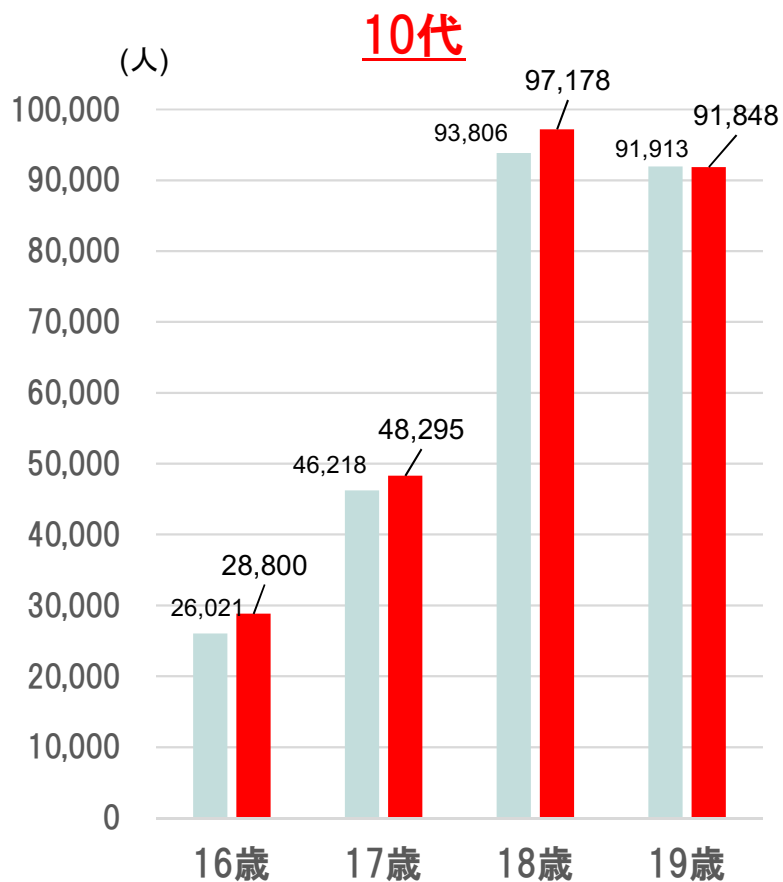


・ 献血推進計画における確保目標量に対する実績

種別	目標量	採血量(実績)
全血採血	133万リットル	132万リットル
血漿成分採血	37万リットル	38万リットル
血小板成分採血	29万リットル	29万リットル



年代別献血状況（対前年度）

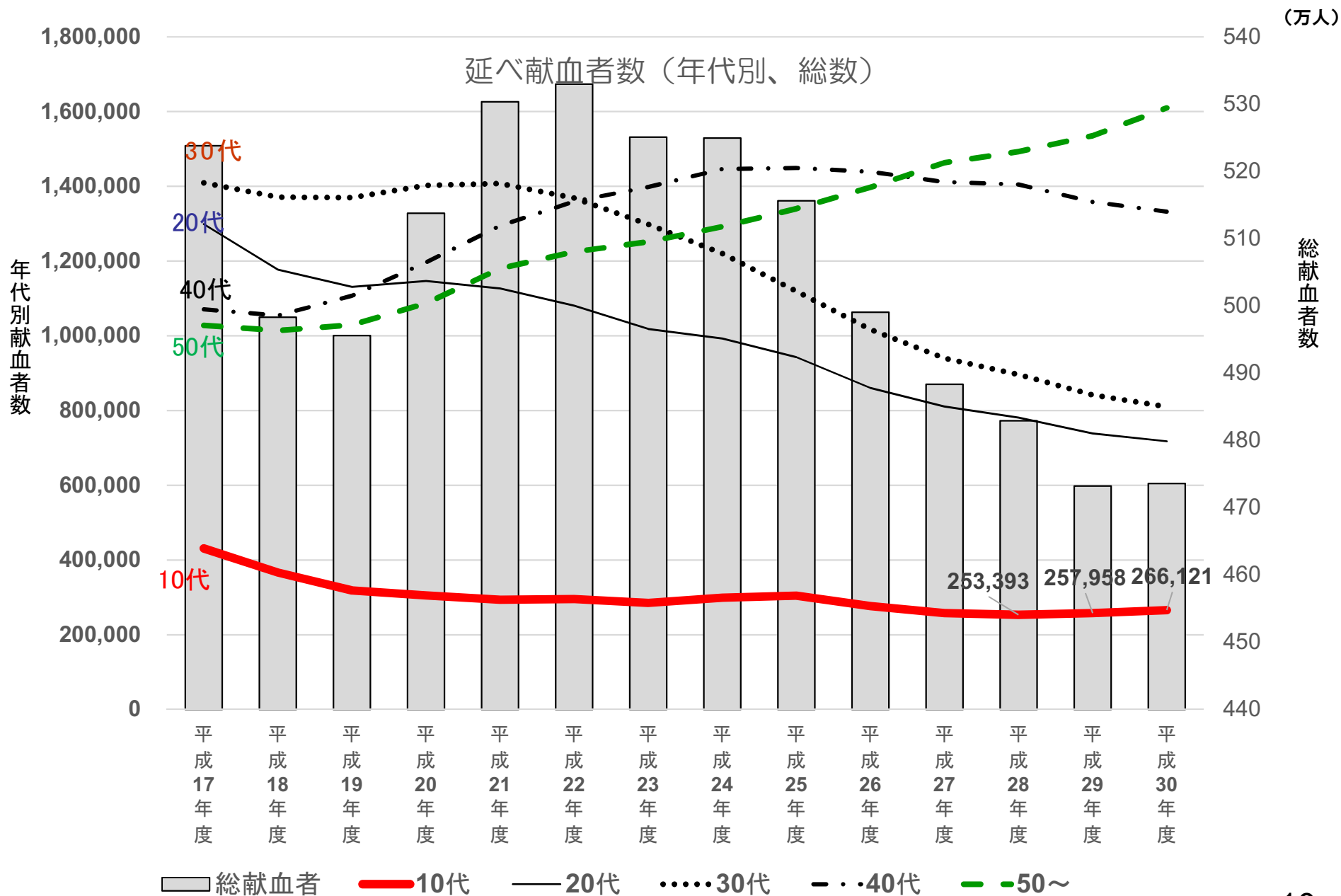


■ 29年度 ■ 30年度

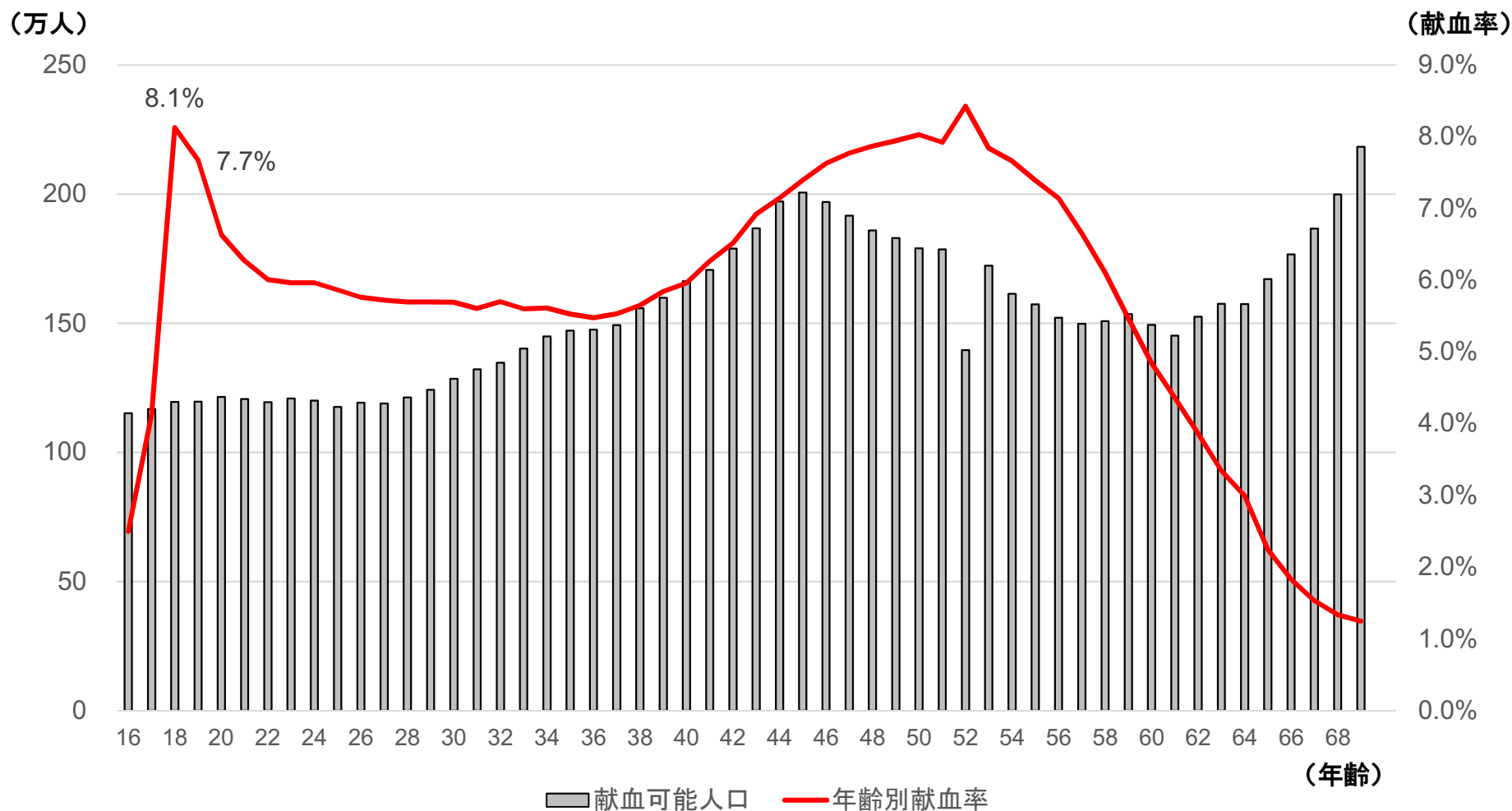
■ 29年度 ■ 30年度

10代の献血者は、8,163人（3.2%増）前年度を上回った。

# 4. 献血実績

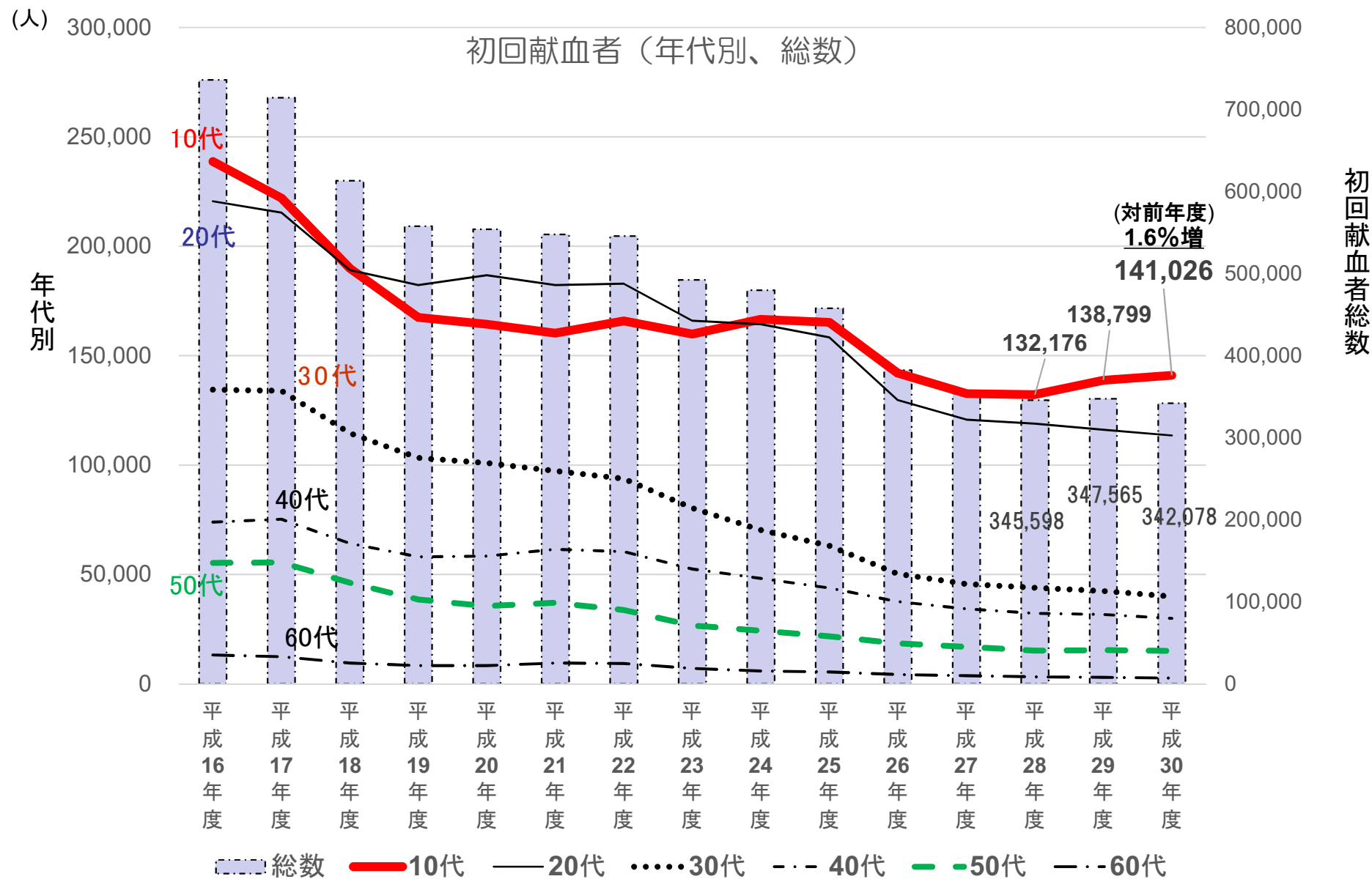


年齢別献血可能人口と献血率



年齢別献血率では、18歳(8.1%)、19歳(7.7%)をピークに35歳までは減少する傾向がある。

# 4. 献血実績



10代の初回献血者は、2,227人（1.6%増）前年度を上回った。

## 4. 献血実績

### 都道府県別10代献血者

年代	10代					年代	10代				
	16歳～19歳						16歳～19歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (29年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比	都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (29年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
北海道	14,322	15,370	15,141	107.3%	101.5%	滋賀県	2,300	2,514	2,378	109.3%	105.7%
北海道ブロック	14,322	15,370	15,141	107.3%	101.5%	京都府	4,870	4,960	4,836	101.8%	102.6%
青森県	3,600	3,996	3,707	111.0%	107.8%	大阪府	17,410	17,371	17,296	99.8%	100.4%
岩手県	2,650	1,973	2,327	74.5%	84.8%	兵庫県	10,383	10,903	10,424	105.0%	104.6%
宮城県	5,952	6,246	6,096	104.9%	102.5%	奈良県	1,900	1,930	1,942	101.6%	99.4%
秋田県	2,202	1,898	1,883	86.2%	100.8%	和歌山県	2,310	2,486	2,230	107.6%	111.5%
山形県	2,098	2,182	2,280	104.0%	95.7%	近畿ブロック	39,173	40,164	39,106	102.5%	102.7%
福島県	3,200	3,346	3,445	104.6%	97.1%	鳥取県	870	883	917	101.5%	96.3%
東北ブロック	19,702	19,641	19,738	99.7%	99.5%	島根県	800	1,045	846	130.6%	123.5%
茨城県	6,420	6,642	6,085	103.5%	109.2%	岡山県	4,474	4,449	4,518	99.4%	98.5%
栃木県	8,071	8,806	8,397	109.1%	104.9%	広島県	6,332	6,216	6,478	98.2%	96.0%
群馬県	5,650	6,027	5,665	106.7%	106.4%	山口県	1,690	2,051	2,007	121.4%	102.2%
埼玉県	15,615	14,510	14,658	92.9%	99.0%	徳島県	1,089	1,062	980	97.5%	108.4%
千葉県	12,355	12,122	11,854	98.1%	102.3%	香川県	1,794	1,887	1,840	105.2%	102.6%
東京都	29,720	28,774	27,591	96.8%	104.3%	愛媛県	2,962	3,388	2,850	114.4%	118.9%
神奈川県	15,186	15,379	14,879	101.3%	103.4%	高知県	1,315	1,305	1,426	99.2%	91.5%
新潟県	5,275	5,447	4,797	103.3%	113.6%	中四国ブロック	21,326	22,286	21,862	104.5%	101.9%
山梨県	3,668	3,398	3,368	92.6%	100.9%	福岡県	11,320	12,330	11,530	108.9%	106.9%
長野県	2,305	2,735	2,591	118.7%	105.6%	佐賀県	1,260	1,273	1,184	101.0%	107.5%
関東甲信越ブロック	104,265	103,840	99,885	99.6%	104.0%	長崎県	2,918	2,863	2,732	98.1%	104.8%
富山県	1,997	2,259	1,862	113.1%	121.3%	熊本県	4,743	4,880	4,727	102.9%	103.2%
石川県	1,930	2,520	2,133	130.6%	118.1%	大分県	1,954	1,840	1,909	94.2%	96.4%
福井県	1,080	1,213	1,078	112.3%	112.5%	宮崎県	2,270	1,797	2,100	79.2%	85.6%
岐阜県	3,231	3,355	3,371	103.8%	99.5%	鹿児島県	2,855	2,945	3,088	103.2%	95.4%
静岡県	7,244	7,403	7,365	102.2%	100.5%	沖縄県	4,061	3,783	3,929	93.2%	96.3%
愛知県	12,665	14,264	13,213	112.6%	108.0%	九州ブロック	31,381	31,711	31,199	101.1%	101.6%
三重県	1,962	2,095	2,005	106.8%	104.5%	合計	260,278	266,121	257,958	102.2%	103.2%
東海北陸ブロック	30,109	33,109	31,027	110.0%	106.7%	差異 (H30-H29)	+8,163				

## 4. 献血実績

### 都道府県別20代献血者

年代	20代					年代	20代				
	20～29歳						20～29歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (29年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比	都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (29年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
北海道	37,139	36,910	37,423	99.4%	98.6%	滋賀県	6,440	5,885	6,215	91.4%	94.7%
北海道ブロック	37,139	36,910	37,423	99.4%	98.6%	京都府	17,500	17,015	17,194	97.2%	99.0%
青森県	7,500	6,434	6,395	85.8%	100.6%	大阪府	65,478	59,592	60,970	91.0%	97.7%
岩手県	7,570	6,501	6,836	85.9%	95.1%	兵庫県	32,518	29,434	29,867	90.5%	98.6%
宮城県	16,160	15,991	16,371	99.0%	97.7%	奈良県	6,940	5,922	6,525	85.3%	90.8%
秋田県	7,712	5,968	5,843	77.4%	102.1%	和歌山県	5,080	5,038	4,672	99.2%	107.8%
山形県	6,255	5,745	6,029	91.8%	95.3%	近畿ブロック	133,956	122,886	125,443	91.7%	98.0%
福島県	11,781	10,513	11,272	89.2%	93.3%	鳥取県	3,550	3,185	3,323	89.7%	95.8%
東北ブロック	56,978	51,152	52,746	89.8%	97.0%	島根県	2,931	2,858	2,727	97.5%	104.8%
茨城県	14,331	12,825	13,048	89.5%	98.3%	岡山県	12,032	11,424	11,799	94.9%	96.8%
栃木県	11,752	11,089	10,935	94.4%	101.4%	広島県	21,440	18,435	19,127	86.0%	96.4%
群馬県	12,454	11,148	11,601	89.5%	96.1%	山口県	5,398	6,073	5,997	112.5%	101.3%
埼玉県	34,706	31,114	32,946	89.7%	94.4%	徳島県	4,267	3,757	3,857	88.0%	97.4%
千葉県	36,107	33,679	34,771	93.3%	96.9%	香川県	5,121	4,352	4,646	85.0%	93.7%
東京都	123,215	103,910	109,201	84.3%	95.2%	愛媛県	8,095	7,678	7,258	94.8%	105.8%
神奈川県	45,208	42,250	42,620	93.5%	99.1%	高知県	4,522	4,029	4,245	89.1%	94.9%
新潟県	15,923	14,208	14,027	89.2%	101.3%	中四国ブロック	67,356	61,791	62,979	91.7%	98.1%
山梨県	5,035	4,580	4,894	91.0%	93.6%	福岡県	32,170	29,292	28,981	91.1%	101.1%
長野県	11,127	9,682	9,986	87.0%	97.0%	佐賀県	4,580	3,864	4,253	84.4%	90.9%
関東甲信越ブロック	309,858	274,485	284,029	88.6%	96.6%	長崎県	8,376	7,148	7,312	85.3%	97.8%
富山県	5,991	5,539	5,562	92.5%	99.6%	熊本県	10,419	9,662	10,098	92.7%	95.7%
石川県	6,503	6,103	6,392	93.8%	95.5%	大分県	6,297	6,345	6,401	100.8%	99.1%
福井県	4,298	3,818	3,907	88.8%	97.7%	宮崎県	6,500	5,517	6,186	84.9%	89.2%
岐阜県	9,329	7,803	8,658	83.6%	90.1%	鹿児島県	9,826	9,363	9,615	95.3%	97.4%
静岡県	17,632	15,556	16,256	88.2%	95.7%	沖縄県	9,547	8,206	8,460	86.0%	97.0%
愛知県	48,853	45,404	47,360	92.9%	95.9%	九州ブロック	87,715	79,397	81,306	90.5%	97.7%
三重県	7,187	6,729	6,876	93.6%	97.9%	合計	792,795	717,573	738,937	90.5%	97.1%
東海北陸ブロック	99,793	90,952	95,011	91.1%	95.7%	差異 (H30-H29)			-21,364		

## 4. 献血実績

### 都道府県別30代献血者

年代	30代					年代	30代				
	30～39歳						30～39歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (29年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比	都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (29年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
北海道	39,809	39,296	40,379	98.7%	97.3%	滋賀県	8,741	8,176	8,215	93.5%	99.5%
北海道ブロック	39,809	39,296	40,379	98.7%	97.3%	京都府	16,100	15,859	16,143	98.5%	98.2%
青森県	9,500	7,828	8,139	82.4%	96.2%	大阪府	66,224	59,442	61,987	89.8%	95.9%
岩手県	9,252	7,741	8,098	83.7%	95.6%	兵庫県	37,715	32,869	33,853	87.2%	97.1%
宮城県	15,650	15,340	15,743	98.0%	97.4%	奈良県	8,260	7,194	7,851	87.1%	91.6%
秋田県	8,751	6,747	6,962	77.1%	96.9%	和歌山県	6,770	6,569	6,275	97.0%	104.7%
山形県	7,498	7,272	7,247	97.0%	100.3%	近畿ブロック	143,810	130,109	134,324	90.5%	96.9%
福島県	13,232	13,821	14,316	104.5%	96.5%	鳥取県	4,850	4,253	4,524	87.7%	94.0%
東北ブロック	63,883	58,749	60,505	92.0%	97.1%	島根県	3,844	3,540	3,509	92.1%	100.9%
茨城県	17,542	15,791	15,600	90.0%	101.2%	岡山県	13,908	13,116	13,324	94.3%	98.4%
栃木県	15,438	14,373	14,553	93.1%	98.8%	広島県	23,377	20,246	20,556	86.6%	98.5%
群馬県	16,166	14,147	15,060	87.5%	93.9%	山口県	7,459	7,758	7,876	104.0%	98.5%
埼玉県	40,722	36,235	38,636	89.0%	93.8%	徳島県	5,732	5,044	5,305	88.0%	95.1%
千葉県	40,476	36,296	38,036	89.7%	95.4%	香川県	7,066	5,980	6,318	84.6%	94.7%
東京都	118,375	102,691	107,805	86.8%	95.3%	愛媛県	10,083	8,676	9,039	86.0%	96.0%
神奈川県	54,446	48,314	49,710	88.7%	97.2%	高知県	5,452	4,722	5,125	86.6%	92.1%
新潟県	17,231	15,534	15,580	90.2%	99.7%	中四国ブロック	81,771	73,335	75,576	89.7%	97.0%
山梨県	5,708	4,933	5,267	86.4%	93.7%	福岡県	37,740	34,306	34,924	90.9%	98.2%
長野県	13,798	12,413	12,959	90.0%	95.8%	佐賀県	6,040	5,472	5,816	90.6%	94.1%
関東甲信越ブロック	339,902	300,727	313,206	88.5%	96.0%	長崎県	10,907	9,625	10,112	88.2%	95.2%
富山県	7,247	6,279	6,726	86.6%	93.4%	熊本県	13,581	12,581	13,068	92.6%	96.3%
石川県	7,699	7,218	7,324	93.8%	98.6%	大分県	8,548	8,739	8,898	102.2%	98.2%
福井県	5,328	4,710	4,690	88.4%	100.4%	宮崎県	7,500	6,980	7,767	93.1%	89.9%
岐阜県	12,202	9,766	11,416	80.0%	85.5%	鹿児島県	12,387	11,598	11,549	93.6%	100.4%
静岡県	25,097	21,744	23,047	86.6%	94.3%	沖縄県	13,691	11,932	12,310	87.2%	96.9%
愛知県	54,179	47,467	50,454	87.6%	94.1%	九州ブロック	110,394	101,233	104,444	91.7%	96.9%
三重県	10,285	9,489	9,778	92.3%	97.0%	合計	901,606	810,122	841,869	89.9%	96.2%
東海北陸ブロック	122,037	106,673	113,435	87.4%	94.0%	差異 (H30-H29)			-31,747		



## 5. アンケート調査について

### 1 調査目的

献血者へのアンケートを通して献血に関するサービス等の評価分析を行い、より充実した献血推進を図る。

### 2 調査期間および調査方法

期間 令和元年7月9日（火）～同15日（月）

方法 ラブラッドWebサイトでのアンケート実施

※令和元年7月9日～同10日に献血したラブラッド会員や10代のラブラッド会員にアンケートの案内メールおよびLINEを配信

### 3 有効回答数

11,081名

（10代2,015名、20代1,138名、30代1,620名、40代～60代6,308名）

## 4 調査結果の概要

	Q1 どのくらいの頻度で献血にご協力いただいていますか。(前回初めて献血にご協力いただいた方は「初めて」を選択してください。)						Q2 よく献血する会場をお教えてください。			
	総計	①毎月1回以上	②2か月～6か月に1回程度	③6か月～1年に1回程度	④数年に1回程度	⑤初めて(献血回数1回)	総計	①献血バス(職場や学校での献血含む)	②献血ルーム(血液センター含む)	③献血ルーム・献血バスの両方
10代	2,015	11.3%	42.7%	14.2%	1.9%	29.9%	2,015	23.3%	67.3%	9.4%
20代	1,138	23.6%	41.7%	16.7%	8.0%	9.9%	1,138	14.1%	78.2%	7.7%
30代	1,620	30.9%	40.7%	15.1%	10.5%	2.9%	1,620	10.4%	82.6%	7.0%
40代～60代	6,308	35.1%	42.1%	15.1%	6.4%	1.3%	6,308	13.0%	79.2%	7.7%
総計	11,081	29.0%	41.9%	15.1%	6.4%	7.6%	11,081	14.6%	77.4%	7.9%

	Q3 平日に献血しやすい時間帯を教えてください。								Q4 土日祝日に献血しやすい時間帯を教えてください。							
	総計	①早朝(7-9時)	②午前(9時-12時)	③午後(12時-15時)	④夕方(15時-18時)	⑤夜間(18時-21時)	⑥深夜(21時以降)	⑦平日は献血できない	総計	①早朝(7-9時)	②午前(9時-12時)	③午後(12時-15時)	④夕方(15時-18時)	⑤夜間(18時-21時)	⑥深夜(21時以降)	⑦土日祝日は献血できない
10代	2,015	0.8%	5.2%	15.0%	45.7%	10.6%	1.5%	21.2%	2,015	2.0%	22.7%	41.9%	25.3%	3.7%	0.5%	3.8%
20代	1,138	1.0%	17.8%	23.6%	21.6%	11.4%	4.4%	20.2%	1,138	2.1%	27.2%	38.2%	22.7%	2.5%	1.1%	6.2%
30代	1,620	2.0%	29.1%	20.9%	10.1%	10.6%	3.9%	23.5%	1,620	3.4%	39.9%	30.9%	11.2%	2.0%	1.0%	11.6%
40代～60代	6,308	1.9%	35.1%	20.0%	10.9%	8.9%	2.6%	20.5%	6,308	4.7%	45.2%	27.5%	9.7%	1.7%	0.5%	10.6%
総計	11,081	1.6%	27.0%	19.6%	18.2%	9.7%	2.8%	21.1%	11,081	3.8%	38.5%	31.7%	14.1%	2.2%	0.6%	9.1%

献血しやすい時間帯は、平日、土日祝日ともに「午前」が最も支持されている。

平日夜間については、20代・30代において1割を超える支持となっている。こうした結果を踏まえ、受付時間の延長を視野に入れて検討を進める。

Q5 初めて献血に行ったきっかけを教えてください。

	総計	①社会貢献をしたい(人の役に立ちたい)から	②周りに輸血を受けた人がいたから	③周りの人が献血をしていたから	④献血会場が近くにあるから	⑤職場又は学校に献血バスが来たから	⑥街頭での呼びかけを聞いて	⑦自己の健康管理として(血液検査の結果をもらえるから)	⑧献血のキャンペーンに参加するため(みんなの献血、はたちの献血など)	⑨献血セミナーを受講して	⑩学校の授業で献血について学んで	⑪イベントへの参加や、記念品などの特典が欲しいから	⑫無料の漫画・雑誌が読めたり、飲み物・お菓子がもらえるから	⑬空き時間の活用	⑭その他
10代	2,015	29.5%	2.1%	13.9%	3.8%	19.8%	3.9%	3.2%	1.7%	0.5%	2.5%	2.5%	4.0%	5.3%	7.3%
20代	1,138	23.3%	3.1%	13.3%	3.3%	24.3%	5.6%	6.6%	1.3%	0.2%	1.3%	1.4%	3.1%	7.0%	6.2%
30代	1,620	25.6%	3.3%	13.0%	3.1%	26.7%	5.2%	6.4%	0.8%	0.0%	1.1%	1.7%	2.9%	3.9%	6.4%
40代~60代	6,308	30.4%	4.2%	7.3%	2.6%	29.5%	5.9%	7.8%	0.9%	0.0%	0.5%	0.9%	1.3%	2.9%	5.8%
総計	11,081	28.8%	3.6%	10.0%	3.0%	26.8%	5.4%	6.6%	1.1%	0.1%	1.0%	1.4%	2.2%	3.9%	6.2%

Q6 献血を続ける理由を教えてください。(複数回答可)

	総計	①社会貢献をしたい(人の役に立ちたい)から	②周りに輸血を受けた人がいたから	③周りの人が献血をしているから	④献血会場が近くにあるから	⑤定期的に職場・学校に献血バスが来るから	⑥街頭での呼びかけをしているから	⑦献血の依頼メール・ハガキが来るから	⑧自己の健康管理として(血液検査の結果をもらえるから)	⑨献血のキャンペーンに参加したいから	⑩イベントへの参加や、記念品などの特典が欲しいから	⑪無料の漫画・雑誌が読めたり、飲み物・お菓子がもらえるから	⑫表彰・顕彰を受けたいから(有功章・ガラス器等)	⑬空き時間の活用	⑭今後献血を続けるつもりはない	⑮その他
10代	2,015	71.2%	3.7%	8.6%	18.8%	11.9%	7.2%	5.7%	27.4%	10.4%	17.3%	26.0%	8.1%	22.6%	0.1%	4.4%
20代	1,138	67.2%	7.2%	6.6%	17.1%	9.1%	6.8%	8.6%	43.1%	10.5%	16.6%	25.8%	9.4%	30.3%	0.2%	4.5%
30代	1,620	70.5%	8.2%	4.9%	15.2%	5.4%	6.5%	9.1%	50.3%	9.9%	17.4%	21.9%	8.8%	28.6%	0.1%	5.2%
40代~60代	6,308	77.4%	9.3%	2.2%	10.1%	6.2%	3.7%	9.3%	56.4%	6.2%	9.0%	10.7%	5.1%	14.9%	0.0%	3.5%
総計	11,081	74.2%	7.9%	4.2%	13.2%	7.4%	5.0%	8.5%	48.9%	8.0%	12.5%	16.7%	6.6%	19.9%	0.1%	4.0%

初めての献血のきっかけは、「社会貢献をしたい」が28.8%で最も高い。次いで「職場又は学校に献血バスが来たから」が26.8%である。一方、続ける理由としては、「社会貢献をしたい」が74.2%で最も高く、次いで「自己の健康管理として」が48.9%である。このことから、社会貢献を訴えていくこと、検査サービスの結果は献血者にとって重要な動機であることと、初めての献血のきっかけとして献血バスが有効であることが伺える。

Q7 献血の広報に効果的だと思うものを教えてください。

	総計	①テレビCM	②YouTube等のインターネット動画	③ラジオCM	④街頭広告	⑤ポスター	⑥LINE	⑦Facebook	⑧Twitter	⑨Instagram	⑩献血の依頼メール(ラブラッド)	⑪献血の依頼ハガキ	⑫献血の依頼電話	⑬街頭での献血の呼びかけ	⑭その他
10代	2,015	30.7%	27.1%	0.9%	3.0%	3.5%	3.9%	0.0%	11.2%	6.8%	2.0%	1.6%	0.2%	6.1%	2.8%
20代	1,138	29.1%	26.0%	1.6%	3.3%	2.7%	6.9%	0.8%	9.6%	5.5%	3.4%	2.5%	0.3%	5.4%	2.8%
30代	1,620	32.2%	20.1%	2.4%	2.4%	2.5%	6.9%	1.4%	6.2%	4.8%	5.9%	1.9%	0.4%	8.4%	4.3%
40代~60代	6,308	41.5%	13.1%	2.1%	3.4%	2.9%	5.8%	1.6%	3.2%	2.0%	9.0%	3.0%	0.5%	8.7%	3.3%
総計	11,081	36.9%	18.0%	1.9%	3.1%	2.9%	5.7%	1.2%	5.7%	3.6%	6.7%	2.6%	0.4%	7.8%	3.3%

Q8 知っている献血のキャンペーン・広報媒体を教えてください。(複数回答可)

Q9 Q8で回答いただいたものうち、献血への興味につながったものを選択してください。(複数回答可)

	総計	①みんなの献血	②はたちの献血	③愛の血液助け合い運動	④LOVE in Action	⑤赤十字・いのちと献血俳句コンテスト	⑥献血セミナー	⑦学校で配布された教材(HOP STEP JUMP)	⑧献血アイドル(KKT21)のアニメ動画	⑨鉄拳 献血啓発バラ漫画「けんけつ」	⑩東海オンエアとのコラボ動画	⑪知っているものはない	総計	①みんなの献血	②はたちの献血	③愛の血液助け合い運動	④LOVE in Action	⑤赤十字・いのちと献血俳句コンテスト	⑥献血セミナー	⑦学校で配布された教材(HOP STEP JUMP)	⑧献血アイドル(KKT21)のアニメ動画	⑨知っているものはない・興味につながったものはない	⑩鉄拳 献血啓発バラ漫画「けんけつ」	⑪東海オンエアとのコラボ動画
10代	2,015	50.1%	58.2%	6.4%	31.0%	16.0%	14.1%	15.3%	3.5%	8.1%	10.8%	17.7%	2,015	25.1%	27.4%	2.8%	16.1%	3.4%	5.5%	7.1%	1.3%	37.4%	4.5%	8.5%
20代	1,138	49.7%	69.8%	9.1%	46.6%	17.1%	10.9%	4.5%	3.9%	8.3%	6.7%	14.3%	1,138	24.3%	31.5%	3.5%	24.0%	2.5%	3.5%	1.8%	1.2%	39.1%	3.3%	4.5%
30代	1,620	51.8%	76.6%	12.5%	53.0%	19.3%	9.1%	2.0%	2.8%	7.4%	1.6%	12.4%	1,620	27.8%	23.1%	4.5%	26.9%	3.1%	2.5%	0.8%	0.9%	40.7%	3.0%	0.3%
40代~60代	6,308	39.4%	81.6%	18.0%	43.9%	18.7%	7.3%	1.4%	2.0%	6.6%	0.7%	9.4%	6,308	25.7%	30.5%	10.6%	25.3%	3.1%	2.9%	0.8%	1.0%	30.6%	3.3%	0.5%
総計	11,081	44.2%	75.4%	14.1%	43.1%	18.1%	9.2%	4.3%	2.6%	7.2%	3.3%	11.8%	11,081	25.8%	29.0%	7.6%	23.7%	3.1%	3.4%	2.0%	1.1%	34.2%	3.5%	2.3%

献血の広報手法において、「テレビCM」が36.9%で最も有効であることが伺える。ただし、10代および20代では「YouTube等のインターネット動画」もテレビCMに近い支持を得ており、若年層にはYouTube等が十分に有効であると思料される。令和元年6月に始まったばかりの「みんなの献血」は、LOVE in Actionより高い認知度となっている。特に、10代においてその傾向が顕著である。今後は、認知を高めていくと共に、献血への興味喚起、そして献血協力への行動までつなげていくことが献血血液確保の上で重要となってくる。

Q10 あなたは複数回献血クラブがラブラッドに変わったことをご存じですか。					Q11 あなたがラブラッド(複数回献血クラブ)に登録した理由は次のうちどれですか。								Q12 ラブラッドのサービスのうち、献血のきっかけになったものはありますか。							
総計	①知っていた	②知らなかった	③ラブラッドに変わってから登録した	総計	①献血会場でスタッフにすすめられて	②家族や友人にすめられて	③検査結果を確認したいから	④ポイントを貯めたいから	⑤献血の予約ができるから	⑥登録キャンペーンをやっていたから	⑦その他	総計	①献血予約	②献血記録	③ポイント	④献血の依頼メール	⑤献血可能日のお知らせメール	⑥ラブラッドな声	⑦特にきっかけになったサービスはない	
10代	2,015	30.4%	23.7%	46.0%	2015	59.9%	2.1%	15.9%	6.1%	6.4%	7.4%	2.1%	2,015	7.6%	24.7%	12.0%	6.2%	9.2%	1.5%	38.8%
20代	1,138	51.9%	23.3%	24.8%	1,138	51.8%	1.6%	20.9%	6.2%	13.4%	4.2%	1.8%	1,138	17.0%	27.6%	12.3%	5.1%	8.2%	0.9%	28.9%
30代	1,620	60.2%	22.0%	17.8%	1,620	43.5%	0.9%	21.2%	8.5%	18.9%	4.3%	2.8%	1,620	24.8%	27.1%	12.5%	6.4%	6.5%	0.5%	22.3%
40代~60代	6,308	63.2%	25.6%	11.2%	6,308	37.2%	1.0%	27.5%	4.4%	20.8%	5.9%	3.2%	6,308	21.7%	34.2%	7.2%	8.6%	7.2%	0.3%	20.7%
総計	11,081	55.6%	24.5%	19.9%	11,081	43.8%	1.2%	23.8%	5.5%	17.1%	5.8%	2.8%	11,081	19.1%	30.8%	9.4%	7.5%	7.5%	0.6%	25.1%

※「ラブラッドな声」は、献血者と受血者両方の声を掲載しているコンテンツである。

Q13 ラブラッドの献血予約機能を利用したことはありますか。				Q14 Q13で「いいえ」と回答された方にお伺いします。献血予約をしない理由についてお聞かせください。							Q15 ラブラッドのサービス内容に満足されていますか。					
総計	①はい	②いいえ	総計	①予約をするメリットを感じないから	②予約が面倒だから	③予約の方法がわからないから	④予約をしても待ち時間なく献血ができないから	⑤希望の日にちや時間間に予約ができない(予約が空いていない)から	⑥特に理由はない	総計	①大変満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤大変不満	
10代	2,015	13.3%	86.7%	1,736	3.7%	3.6%	6.4%	26.7%	7.8%	51.8%	2,015	41.0%	35.4%	23.2%	0.3%	0.0%
20代	1,138	34.3%	65.7%	751	3.9%	7.1%	2.8%	25.2%	10.7%	50.5%	1,138	28.9%	45.8%	24.5%	0.6%	0.2%
30代	1,620	47.1%	52.9%	871	5.2%	6.9%	3.4%	21.5%	13.0%	50.1%	1,620	22.9%	47.0%	27.3%	2.3%	0.5%
40代~60代	6,308	46.8%	53.2%	3,334	5.2%	4.4%	4.7%	24.4%	14.5%	46.8%	6,308	22.7%	46.0%	28.9%	2.0%	0.4%
総計	11,081	39.5%	60.5%	6,692	4.7%	4.8%	4.8%	24.7%	12.1%	48.9%	11,081	26.7%	44.2%	27.2%	1.6%	0.3%

ラブラッドのサービスのうち、献血のきっかけとなったのは「献血記録」(検査サービス)が30.8%と最も高い。若年層においても十分に支持されており、全世代に対して訴求していくべきサービスであると考えられる。

予約機能の利用については今後促進の余地が大きく、献血会場で献血者に入会を案内する際等に献血者へ訴求する。

ラブラッドに対する満足度は、「大変満足」および「やや満足」合計で70.9%である。不満を押さえつつ、更なる満足度向上を目指し、機能拡充等の検討を進める。

## 6. まとめ

- 総献血者数は3,803人増（0.1%増）の約473万6千人であり、輸血用血液製剤及び原料血漿については、滞りなく安定供給が行えた。
- 輸血用血液製剤の総供給本数は2.1%減の1,733.8万本、原料血漿の確保量は7.9%増の99.3万リットルであった。
- 10代については、前年度と比較し献血者数で延べ8,163人（3.2%増）、初回者で2,227人（1.6%増）増加した。
- 10代については、献血Web会員サービス「ラブラッド」、YouTube、SNS等の効果的な施策を展開しながら初回献血を推進し、献血への理解を促す策を講じることで、2回目以降の献血に繋がるよう積極的に取り組む。
- 20代、30代については、18歳、19歳をピークに30代半ばまで減少する傾向がある。献血ルームの受付時間の延長等、利便性を高めることで献血に協力いただける機会を増やす取組を検討する。
- 需要予測に適応する中長期戦略へ取り組むにあたり、複数回献血率の高い40代以降の協力を維持しつつ、ラブラッド等を活用し特に若年層については献血者満足度の向上に努め複数回献血に誘導することによる底上げを図る。
- 小学生から大学生への啓発（献血セミナー等）については、厚生労働省をはじめ、国・行政との連携を一層高めながら積極的な展開を図る。